

## 主に對する喜びの賛美

出エジプト記一五章一〜21節

その時、モーセとイスラエルの人々はこの歌を主に歌った。

「主に向かって私は歌おう。なんと偉大で、高くあられる方。

主は馬と乗り手を海に投げ込まれた。」(一)

神による大いなるみわざを見たとき、人々は心から神を賛美しました。この歌は、聖書に出てくる最古の歌とされています。教会おける賛美は、何よりも神に向かつて歌われるものです。会衆の前で歌う特別賛美であっても、「主に向かつて私は歌おう」という心が大切です。このイスラエルの民の賛美の力強さは、そこに彼らの実存がかかっていたからです。「私たちは神のみわざによって救い出された！」という心にあふれる喜びをもって賛美したのです。礼拝において賛美をささげるとき、私たちを罪の中から救い出してくださいました神の恵みを思いつつ、それを「私の歌」として皆が歌うならば、この出エジプトの民のような力ある賛美となることでしょう。罪の奴隷から救い出された者として、主に向かって心からの賛美を歌う者たちでありたいと願います。